

床下浸水後の家屋への適切な対応

衛生対策の3つのステップ

時間を決めて休憩と水分補給をして、体調に十分気をつけて作業してください

1. 床下を確認する

2. 洗浄

汚泥やゴミがあった場合、除去した後洗浄を実施

3. 乾燥

床下の消毒は**原則不要**

(洗浄した後の乾燥がとにかく重要)

1.床下を確認する

水や汚泥、ゴミが残っていないか確認し除去しましょう。

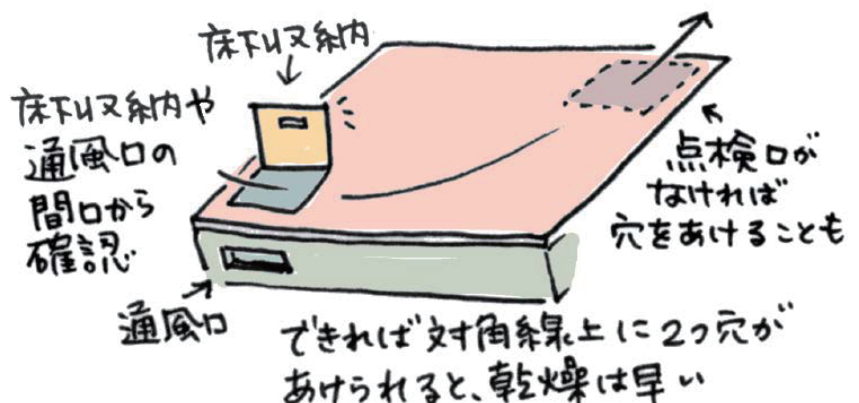
和室の場合

- ・ 畳の下にある板をはがす。
- ・ 板は無垢材なら洗浄して陰干しすれば再利用可能。
- ・ どの部屋の何番目なのか「印」をつけてから外す。



洋室の場合

- ・ 床下収納、点検口を開ける。
- ・ 床下に水や泥があれば除去。
- ・ 点検口などが無い場合は、工務店などで作ってもらう。
(相場は2～3万円)



2. 洗淨

- ・泥やゴミが付着した部分は**必ず**洗淨しましょう。
- ・臭いやカビの原因となります。

- ・けがを防ぐために厚手のゴム手袋、ゴム長靴（あればゴーグルをつけて目も保護します）、ほこりを吸い込まないためにマスクを付けて清掃に当たります。
- ・高圧洗淨機を用いると効果的に洗淨できますが、その際は、マスクを着用し、換気に気をつけます。

道具用途一覧



3. 乾燥

床下の消毒は**原則不要**

（洗淨した後の乾燥がとにかく重要）

洗淨のあとは、**徹底的**な乾燥が必要になります



【乾燥のポイント】

- ★晴れた日は窓を開けて、外の空気を取り込みましょう。
 - ★床下の点検口などを開け、できるだけ外気を床下に送り込むようにしましょう。
 - ★灯油は燃焼時に水分を発するので使用は控えましょう。
 - ★換気扇も活用しましょう。
- 湿った空気が留まらないように、空気を動かすことが大切です